

中村俊定文庫
文庫 18
748



長安



名月也

浪心月暮まの

ふらふら

美風栴

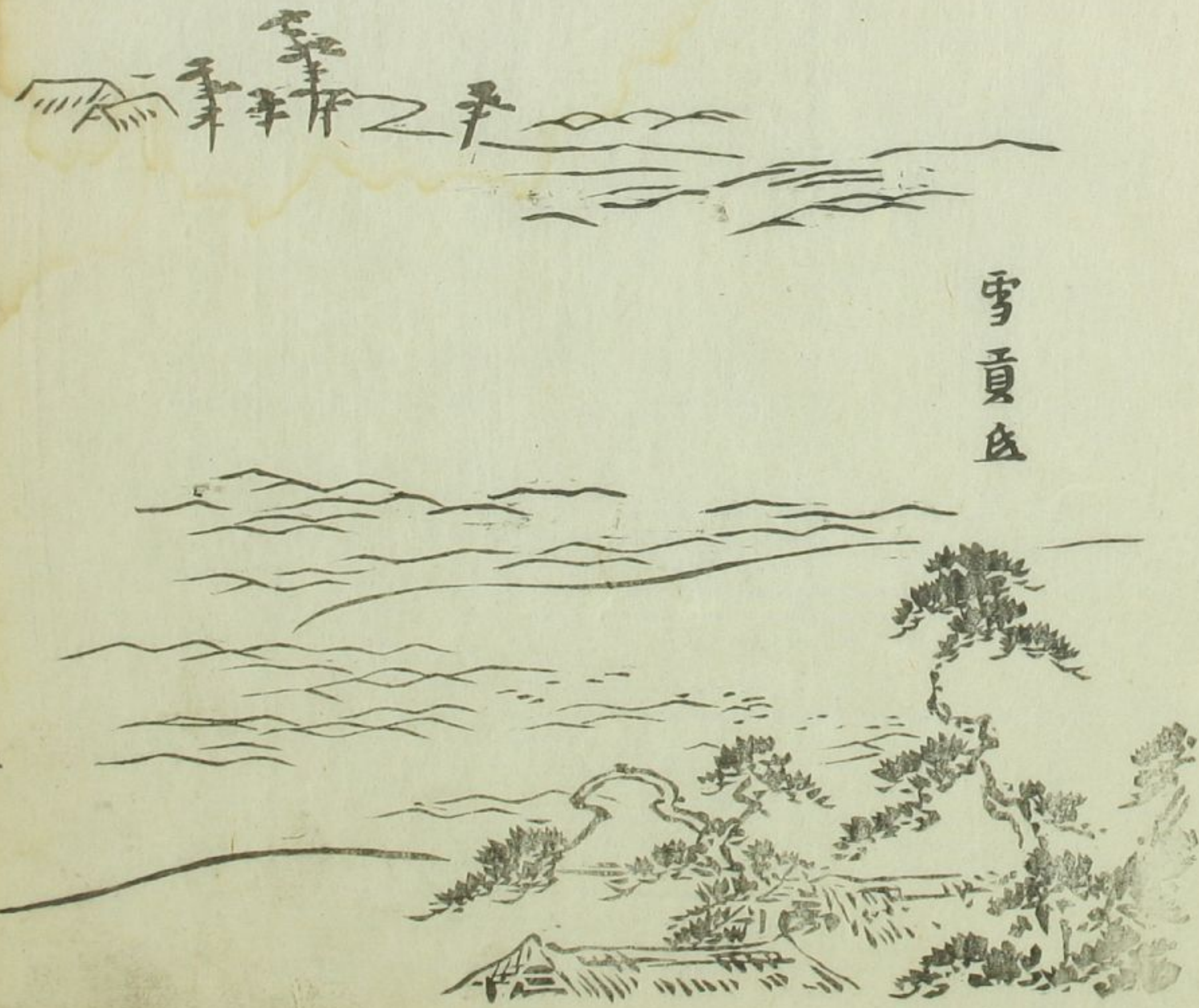
秋醉



雪貢



須磨の石
 二幅對
 南冬橋
 吐覽



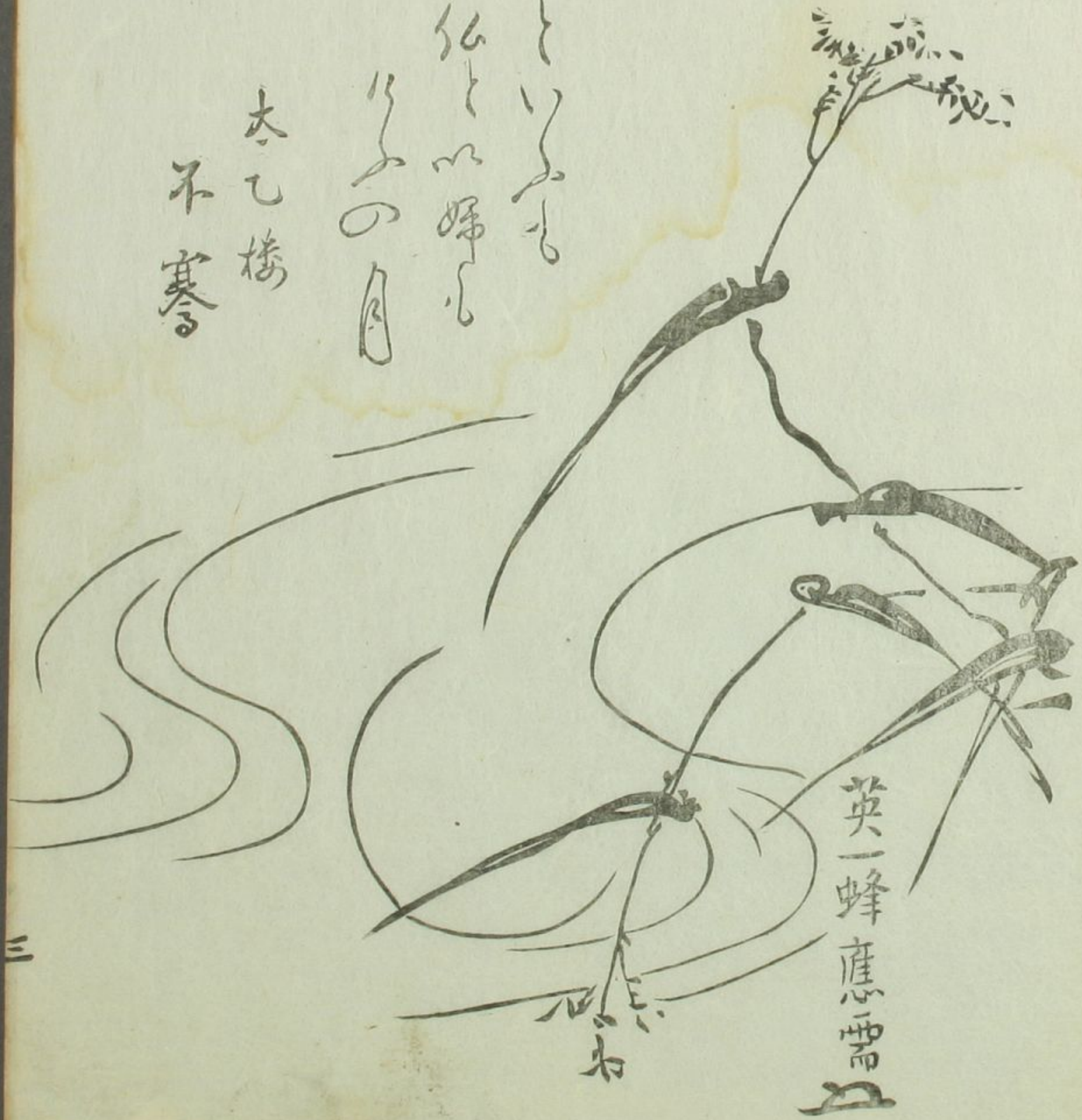
雪頁出

雪の如や
 月北
 料子
 石田松
 近
 白日庵
 葉貞



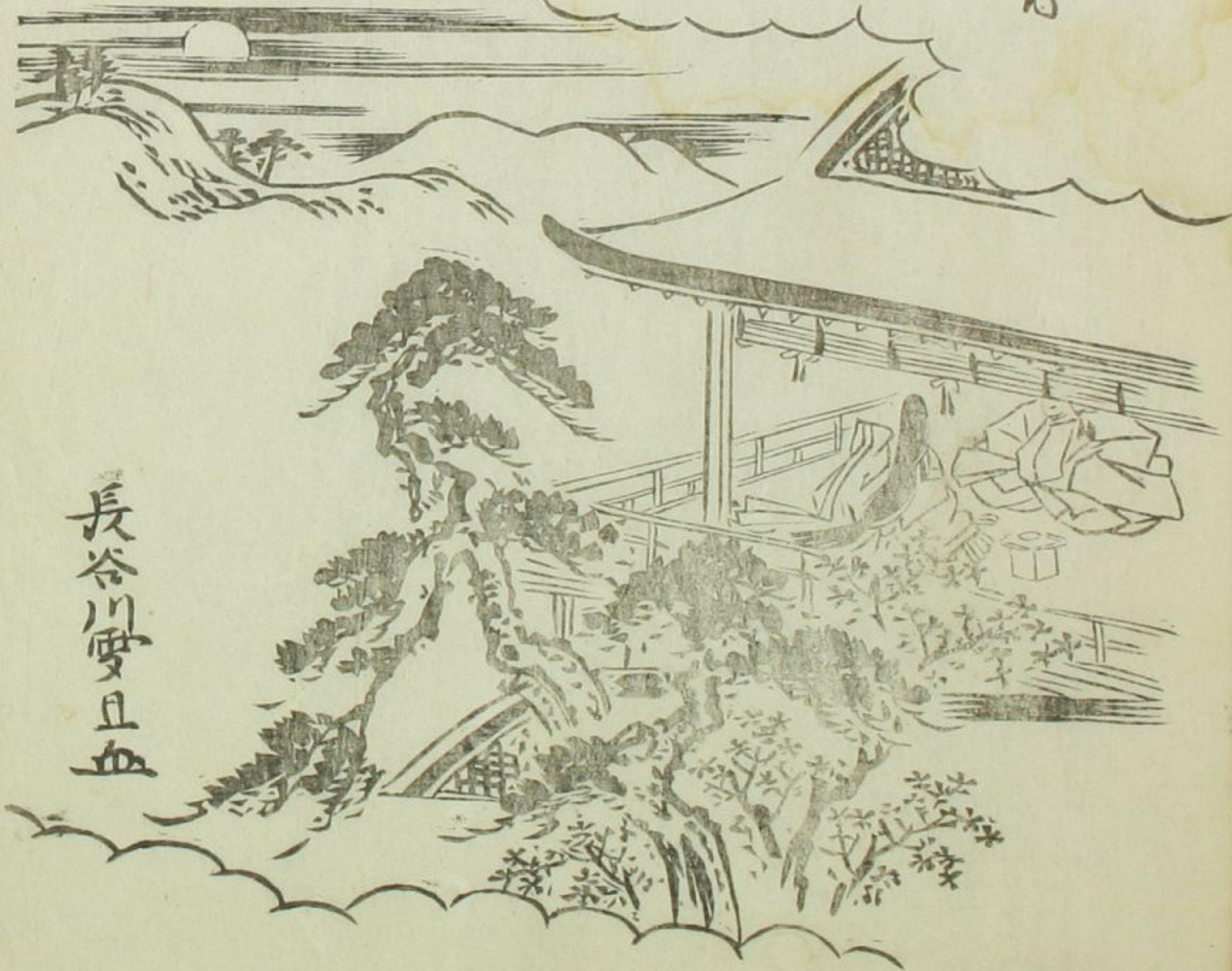
一峰圖

神
 ひとりも
 ひとりも
 ひとりも
 木乙橋
 不寒



英一蜂應需

月
 え
 好
 の
 女
 雨



長谷川雪且血

古車一を

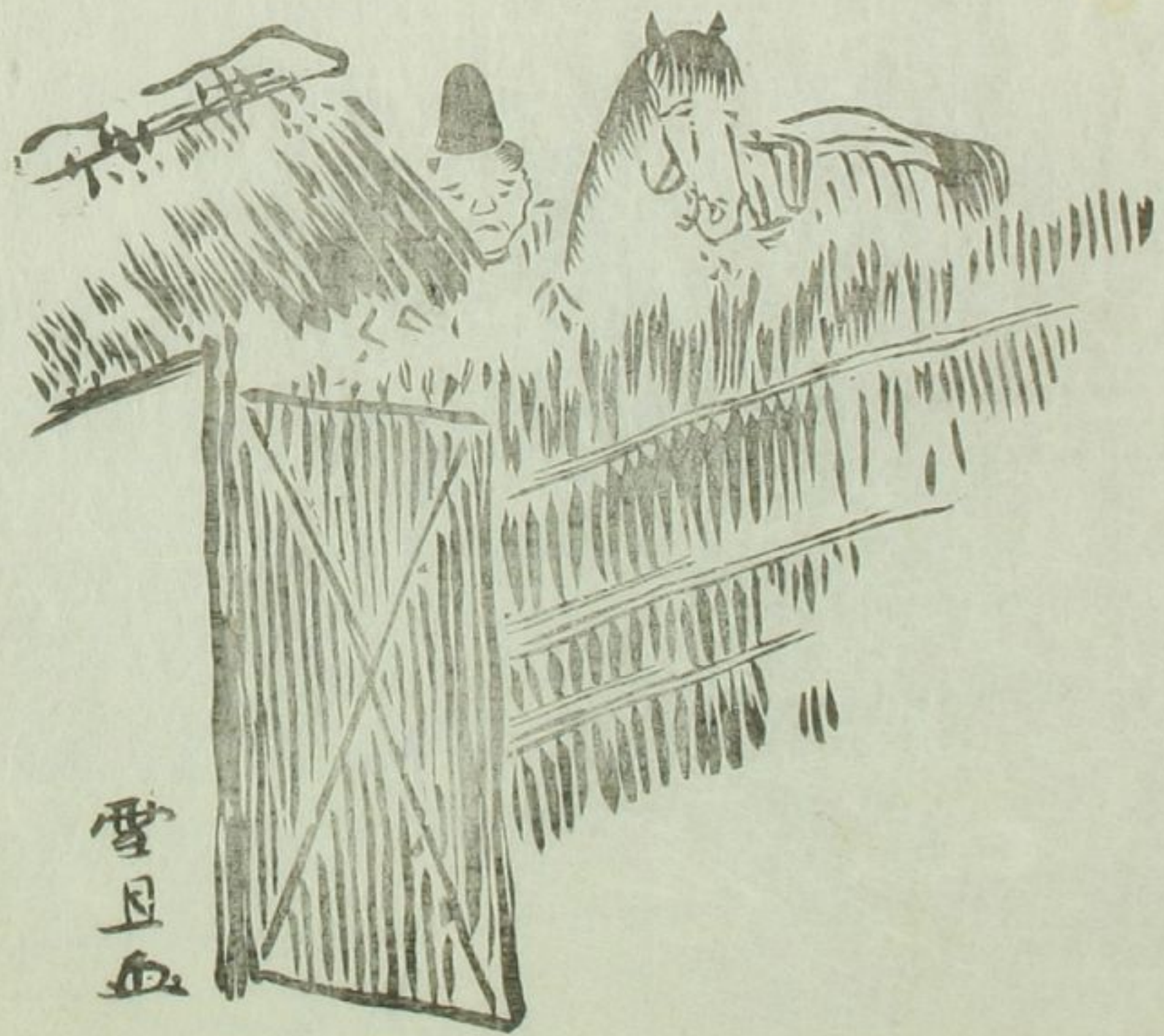
あまふ

こふひや

浪塚の月

馬月を

文園



雪且血

夕の月おとるの南

可忍

名月や森まよ友呼止か

怪舌

月とのまゆかきさるや尾の松

花口

くさるまよも月の余光

五色

名月や網子並んで 草 魅

遊水

名月よまのあけあけ 雲 月

孤月

父と子便り一紙書と今も懐かし

辛一才

月や本卦かへるの 曆 人

漁秋

名月や人の 約もいふ 時

一 磯

名月や塔の 鶴の 敷い 月

秋 夢 須

泣きも如月の花とよむまき雲
 名月や梢子泣く楳の丘
 日の中ふるらぬ國よりふの月
 夕のれくし眼もまき外も目の鏡
 世界皆まきとおまや月と音
 足よとくへの月子抱て宿須戸簾
 兎書 郡川

月のおとちるまきとよむまき雲
 霧のまきしるまきい月のまき雲
 夕やまきし一津と浦と七月の名
 有林 富泉 光西

まきのこ

聖のおとちるまきとよむまき雲
 夕やまきし一津と浦と七月の名
 藤子舟の名や 好の月
 明日やうて秋の糸為
 夕やまきし一津と浦と七月の名
 名月やまきのまきの糸とぬき
 名月やまきのまきの糸とぬき
 夕やまきし一津と浦と七月の名
 名月やまきのまきの糸とぬき
 石山やまきのまきの糸とぬき
 吐仙 雲坡 噴馬 由吉 嘉都 東里 田父 東馬 豊川 山寺

以月や露を満き小おを
 名月や江口は海は掉の奇
 くの月海流きなり光る
 ころ度と求もととんりの月
 月や今もをともを鐘の夢
 若子もろも松も流きくろの月
 麿かとも月のとてや本城山
 多月や波きの舟かき
 二階く葉撰き月の実
 松の山もあはれや月こも

庭琴
 海江
 赤瀬
 曇花
 馬行
 櫻遊
 文曉
 梅籬
 文甫
 美酒

以月や

心小第の
 松作

無礙亭
 五編



雪且也

草と田舎

春の月夜

女
園
志

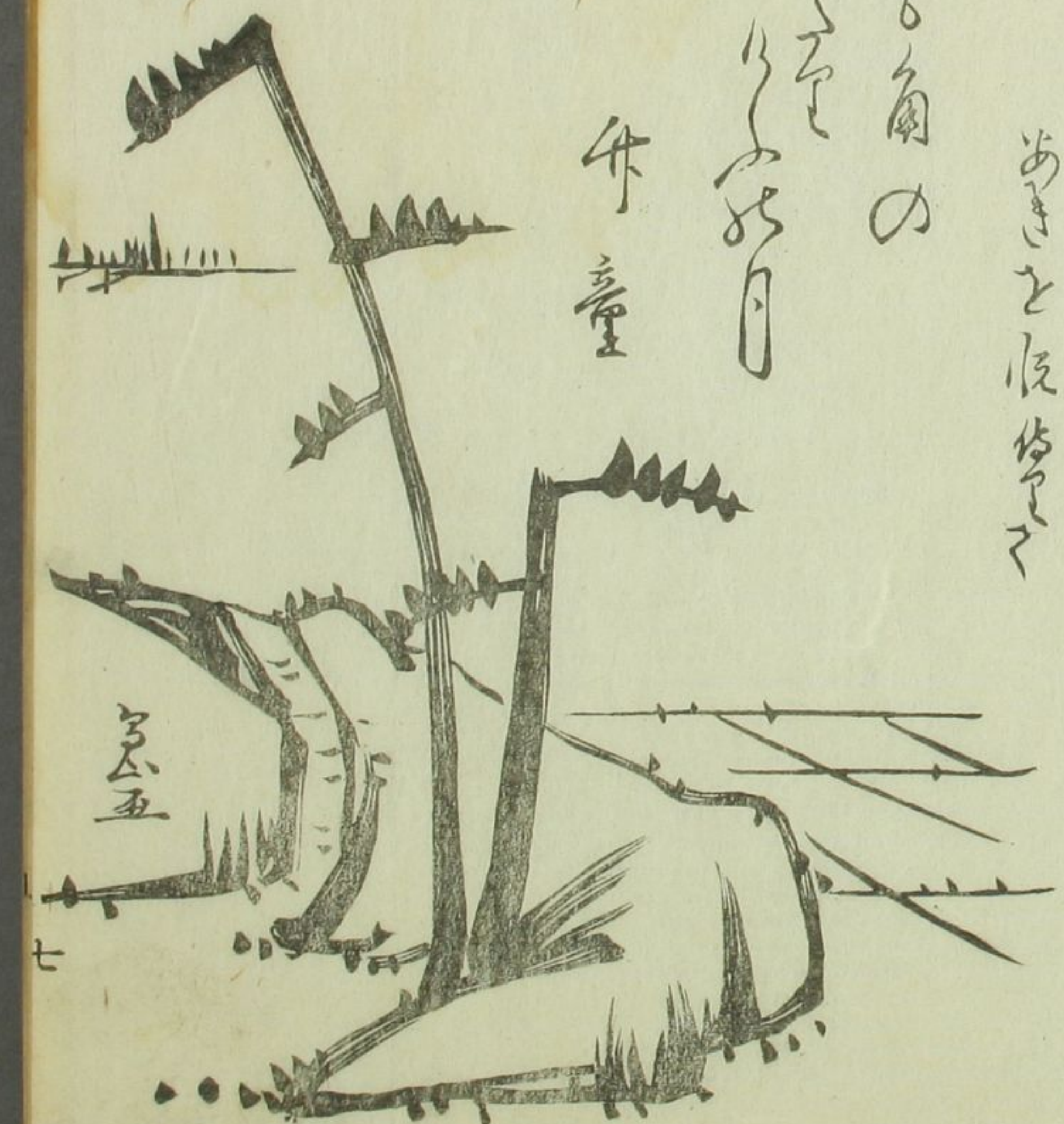


君のあしを
歩かして紋仕の月夜
あまを辰侍

水鏡も角の

あまを辰侍

作
童



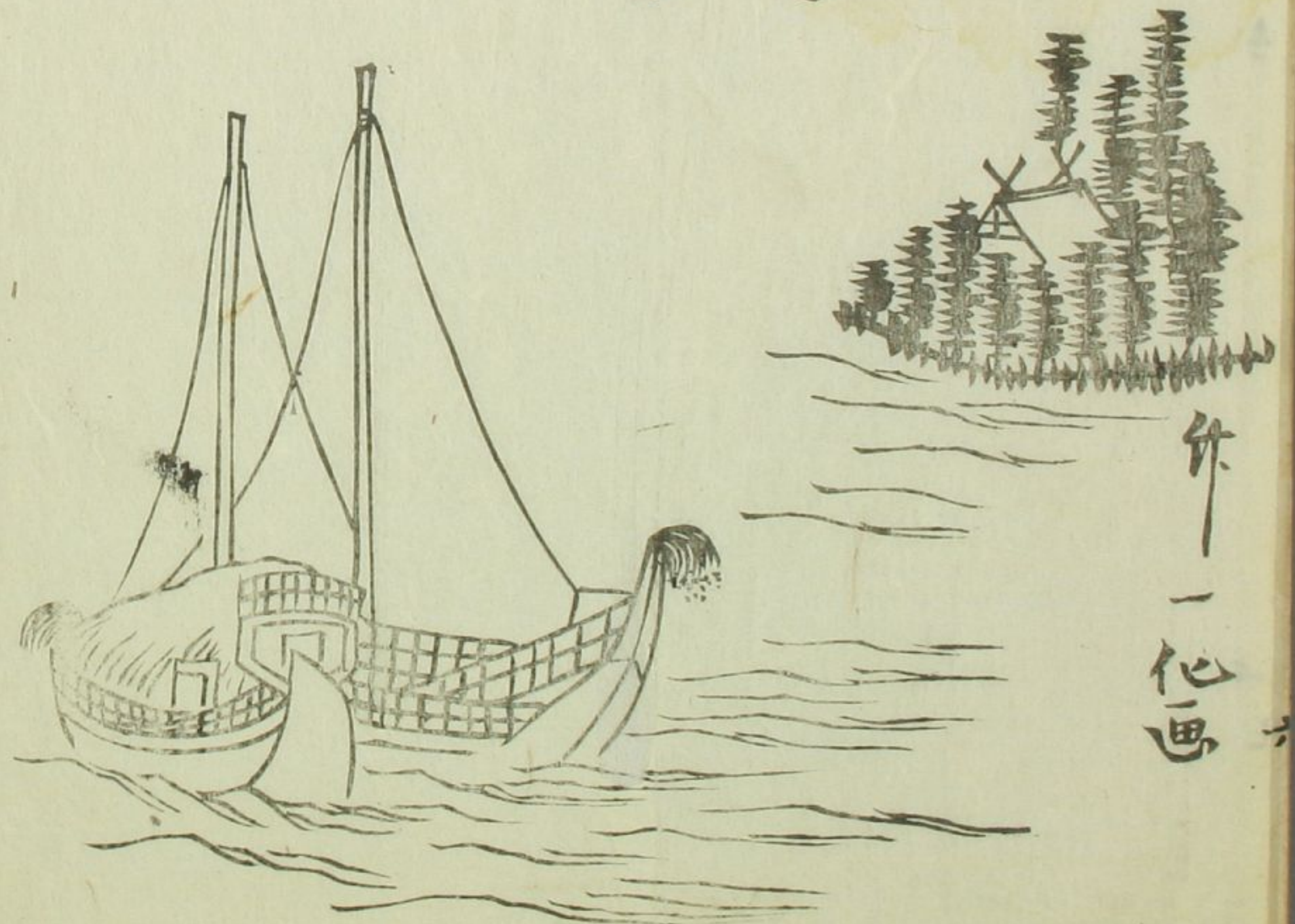
五
五

月々宵

新野川の

流るる舟

花園



竹一化画

名月也

子あはれ

平らもたす

佳車



竹一化画

子の月

あま

あまの

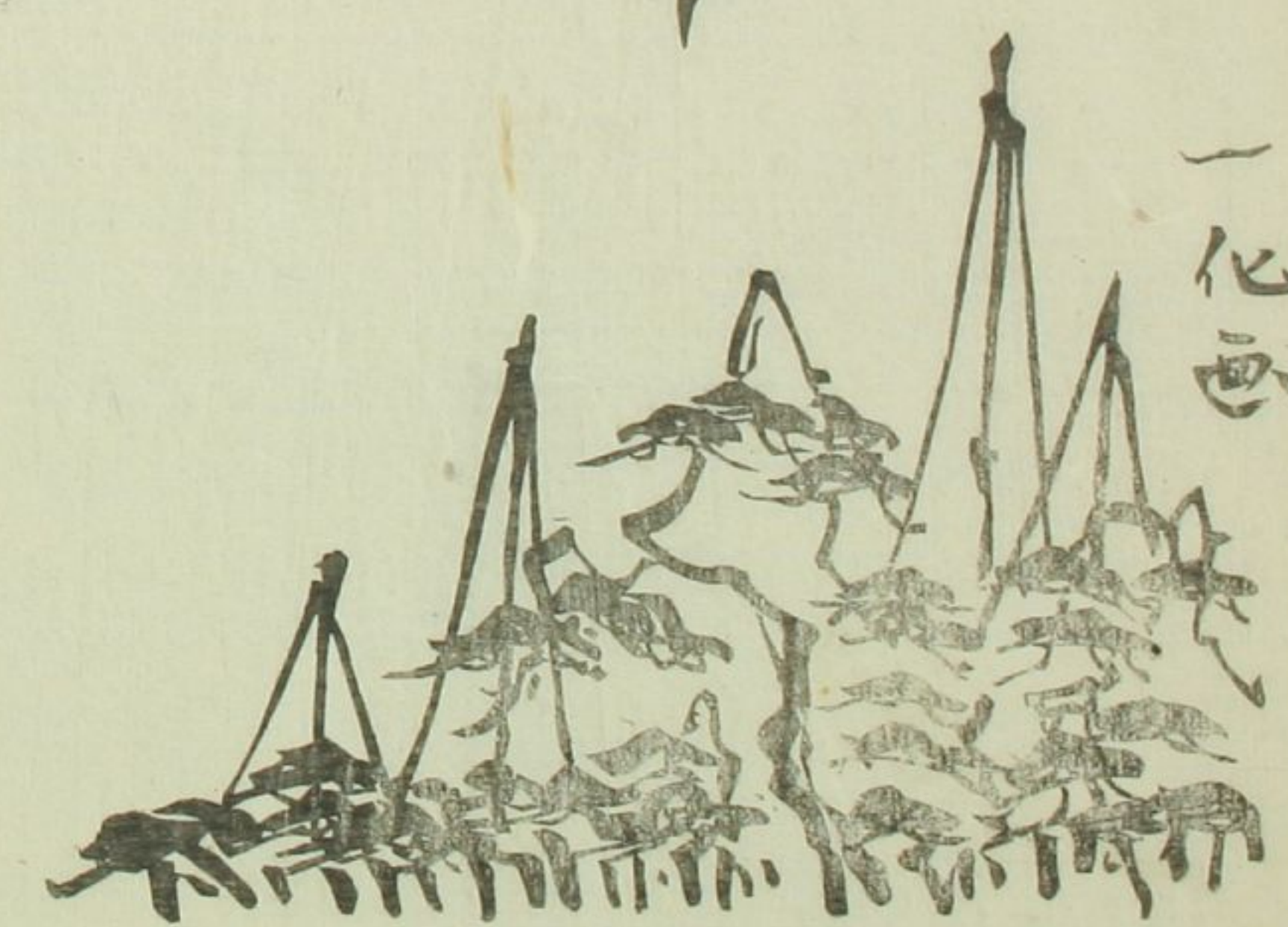
体



去一層
橋水



一化画



冬月やそをまき道の舟一のこ
秋之れ海月もすしや月を青
るくくわくふふ津の流乃花
一筆
雪直
因曉

之妹の月

漱子くくぬきつし舟や雲の月
冬月や澄すきむ子の三れ友
信のこれ物象 暗し一后月
雀覽
全
全

日二章

切妙もあまを海池や蓮の月
冬月や一天四海ふまき
正魚
全

明月や志々響つて海の上
月も友も友まをわくまを響か
千尋も新く月のことひら
白嘴
愚牛
一化

○
名月や小中思崎のき保き
名月や水の心を合鉄才
湘江
春水

○
二重なる月や葎のつるさ
名月やまをわくまを響か
おもしろくおもしろくの月も
平砂
赤丸
買明

川の流し月のあまきくさる日
名月や森まの鏡を捧げ片け
長あうさて石匠の月のを
船乗りの人よ月也月思
名月やや下下まの答
大日枝の懐廣くく月の
膝あうさるよかへりや
月とまの橋場の渡り事也
丸素更
立志
多粒
佛お
湖十
船四
亀貝
樗雲

と東も葉や作らへ月々音
一漁
森と音と六葉ぬと人よ月こひ
堤亭

大尾

十種あやとや日とてあまの雲
園女
名可くそん橋や月々音
全

實連舎

文化五戊辰仲姓



27
26
25

